



○ 学校に居づらさを感じる生徒について  
 ○ 地下通路について  
 ○ 花月楼について

その他の質問

- ・ 中学校再編計画の生徒の登校について
- ・ 校舎配置計画について
- ・ 地域いきいきボランティアポイント事業について

森かよ子 議員  
 優政一心会



**議** 新中学校への登校時に高校生も同じスクールバスに乗ると、中学生はストレスがかかり、それによって不登校が増えると考えられる。現在不登校は何人いるのか。さらに増えた場合の対応を伺う。

**理** 冬季の地下通路は入口付近の凍結のおそれがあるが、どのような対応をするのか伺う。

**理** 不登校の生徒は、8月末の時点で市内3中学校の人数の合計が21人。

現在、教室に入りづらい児童生徒のための支援に加え、新規の不登校児童生徒を生み出さないことが重要と考え、

全ての子どもが学校に来るのが楽しいと思えるような魅力ある学校づくり、分かる授業の実践、子どもの主体性を育てる活動の充実、ポジティブ教育の充実などのほか、近接する奥越特別支援学校との連携を強化して、専門的な見地からの助言・支援を充実する体制を構築したいと考えている。

さらに、新中学校の建設にあたり、不登校の生徒のための相談室を複数設けたり、玄関ではない別の場所から、学

校に入るような動線を整備したりするなど、施設面においても不登校生徒に配慮した整備を検討している。

地下通路については、出入り口の止水設備の整備、雨や風雪の吹き込みを防ぐ対策、床の素材や排水設備、内装などについて十分考慮した設計とするよう検討していく。

**議** 平成29年に「食と文化の駅」をコンセプトに花月楼がお食事処としてスタートした。当初は花月楼の2階にある傘天井を有形文化財として活用されていたが、現在、十分活用されていないのではと残念に思う。

**理** 食事をしなくても傘天井を見学できるのか伺う。

**理** 傘天井は、2階に座敷の予約や、お客様が入っていないときは自由に見ていただく。

お食事をしていただく必要もないと聞いている。

ただ、自由に見学ができるという情報の表示、周知について不足をしていると思うので、施設を所有しているDMO勝山市観光まちづくり株式会社、周知、表示をお願いしていきたい。



○ 中学校再編計画について

その他の質問

- ・ 高齢化社会に向けた取組について
- ・ 令和6年4月1日からスタートするプラスチック資源分別収集について

浦上雄次 議員  
 優政一心会



**議** 中学校再編計画について全市民の意見を100%反映させるのは不可能だとは思いますが、一統合再編には賛成だが、今の建設内容には反対だ」という意見がある。市内3つの中学校が1つになるという歴史的な瞬間に対して、市民の意識が高くなっているのは間違いのないし、勝山市の未来にも大きく関わってくる事だと考える。最後まで市民の声を大切に拾いあげていきたい

が、来年の建設予算を決める前に年内に今一度、市民全員にアンケート調査を聞き賛成、反対、建設内容の見直しについての結果を調査してもらいたい。

3つの中学校は取り壊しになるのか。

**理** ジオアリーナは市民と学校が共有できるのか。市の見解を伺う。

**理** 勝山市の小中学校の望ましいあり方検討委員会が設置されてから約20年にわたり、市内の小中学校の今後の方向性について協議を重ねてきた。令和4年3月に勝山市立

中学校再編計画を策定し、本年3月には建設基本計画を策定した。併せて設計予算を認

めていただき、基本設計の策定に取り組みとともに、新中学校の開校に向けた準備を進めている。これまで積み重ねてきた協議の重み、現在の状況を踏まえ、市民の皆様へ再編の是非を問うアンケートの実施は考えていない。

今年度は、5月から小中学校の教職員、中高の生徒会、市内の全中学生と語る会など積極的に言い、開校に向けた期待や不安、要望などを聞いていく。子どもたちや教職員の意見を反映できるように取り組むとともに、新中学校開校に向けた準備の進捗状況などを市のホームページや広報で随時細かくお知らせすること、理解が広がっていると感じている。

3中学校の跡地の活用については、本年度から庁内全体で検討を始めている。現時点では具体的な案を示す段階には至っていないが、勝山市の考え方を整理し、市民のご意見をお聞きしながら、検討を進めていきたい。

ジオアリーナ等は使用計画を検討する中で互いに調整しながら有効活用できるようにしていきたい。